

の遊休農地（実際は耕作放棄地であろうが）の実態について考えてみた。

確かに、近くて便利で、かつ、車の通行可能な土地については、田にしても畑にしても有効に耕作されているが（草に被われていて、見るに堪えない場所も多い）・・・現在の世間の生活状況を考えれば止むを得ないかも知れない。かつて、先人たちが開拓した山の上、谷の奥等については、耕作可能な土地は皆無に等しい。

振り返って我が身を考えると、全くその通りであり慙愧に堪えないが、どこかの県の知事が言った「どうにかせないかん」はまさにその通りである。

せめて近くの農地だけでも荒らさないよう多くの人たちに作ることの楽しさ、苦しさを実感して頂きたいと思う今日この頃である。

農業委員二期目にあたって

奥村 敦夫



現在、日本農業は危機的状況にあると言われている。

原油高を始め、世界中で穀物価格が高騰するなかで、日本の米は価格が低迷して農家は非常に苦しい状況にあります。また、農業者の高齢化、後継者不足も進んでおり、農業後継者の育成、集落営農の推進が叫

ばれているところですが、思うような状況にありません。

一方で、遊休農地が増加して憂慮される状況にあります。農業委員会としても遊休農地の解消に向けて、坂上土地内で地主の理解を得ながら、積極的に取り組んでいます。

私も農業委員として皆様のご理解とご協力を得ながら、岩美町農業の発展・継承のために何が出来たかを考えて、力一杯頑張りたいと思っていますので、よろしく願います。

農業委員の一員として

竹内 肇



岩井、小田川、小田南部、大谷土地改良区の合併を機に、岩美土地

改良区から推薦を頂き、農業委員の一員として活動の機会を頂きました。

二〇〇七年から始まった「水田経営安定対策」は本町にとって、国が掲げる中山間地農業とはまったくかけ離れた農業の現実であります。将来の農業、そして地域を夢見て多額の資金を費やして圃場整備をしたものの、高齢化は進み、担い手のない現実。それに追い討ちをかける原油の高騰、及び資材、肥料の値上げに、本町のような単作地帯の農業は窮地に追い込まれております。従って、以前にも増して耕作

放棄地が増加する恐れがあります。行政にもご理解を頂きながら、耕作放棄地を無くすように頑張りたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願いし、挨拶といたします。

農業委員になって

中村 庄一



この度の改選で引き続き農業委員を務めさせて頂くことになりました。

した。

大谷生産組合も平成十七年に法人化することが出来ました。機械設備も充実して来ましたが、後は米の選別機、乾燥施設の導入を検討し、実施したいと思っています。堆肥、緑肥の活用でエコファーマー認定を取り、安全安心な米作りに取り組んでいます。今年度モデル事業として大谷地区内の耕作放棄地の解消に向け、雑草、雑木の除去等復旧作業に取り組んでいます。復旧出来れば、五戸分、七反を一枚の圃場に、来年度、田植えが出来るように頑張ります。農地等に関する相談があれば、応じたいと思っています。皆様の御指導と御協力を切にお願いいたします。

“安心して豊かな老後は

農業者年金

加入で”

農業委員の

任命を受けて

岸 龍司



今回の改選時に、図らずも町議会推薦を頂きましたが、農業を取

り巻く環境の厳しさや他の役職との兼ね合いで躊躇したのも事実です。

しかし、地元の基盤整備やその後の営農組織の立ち上げから法人化に至る経緯等を振り返る中で、町や県を始め、多くの関係機関の方々等の支援を頂きながら今日に至っている事を感じない訳にはなりません。自分にて

ることがどれ程の事があるかという思いもしますが、本町の農業をなくす訳にはいきません。農家の方だけでなく、消費者としての多くの町民の方の力も得て「地域力」で守る岩美町の農業に微力ですが、他の委員さん方と共に努めて参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

農業委員に

なつての抱負

河口 武雄



この度の農業委員の改選に当たり、町議会より推薦されました。浅学非才な私が、農業委員とし

て地域農業の勉強をする機会を与えて頂きました。

耕作放棄地を広げないよう、農地を保全しなくてはなりません。また、岩美町の農業経営は、違いはあっても、家族経営又は共同による生産組織、集落営農等多様に繰り広げられています。農業を担ってきた高齢者が「現役引退」を目前にするなかで、今後、誰が農地の管理及び食糧生産を行い、誰が農業を担って行くかが課題です。担当地区は唐川、大坂、長郷、院内、荒金です。

皆様のご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。

日本農業が

置かれている立場

濱口 義弘



つい先日、某新聞社報道部に電話したら、これに呼応するが如く

「夏・総決算」の見出しで掲載されていた、この夏の人は西高東低で、気圧配置に例えれば典型的な冬型である。

一方、外の方に目を転じると「WTI」だの「WTO」だのと言われ、何なのかと調べれば、原油高騰、世界貿易機関、これに加えて近頃は肥料の値段も上がっているという事で、農業者にとっては頭の痛い事この上ない状況が続いている。

また、今年は閏年で一部には「ウルウ年」だけえ、米は余り良